

10周年記念講演に440人

中央大学相模原白門会

中央大学学会相模原白門会が7月2日、創立10周年記念特別講演会・演奏会を杜のホールはしもとホールで開催した。当日は440人が来場。本村賢太郎市長の来賓あいさつの後、中央大学前総長・学長の酒井正三郎氏が「中央大学」の二大拠点から新時代の

「実学教育へ」と題した講演、相模原市音楽家連盟の弦楽五重奏のコンサートを開催した。

休息後、JAXAの上最年少「はやぶさ2」プロジェクトマネージャーの津田雄一教授による「はやぶさ2の挑戦―宇宙探査の夢」と題した記念特別講演を



講演したJAXA津田教授（右）に笑顔でお礼を述べる村上会長（左）

施、来場者は夢のある話に聞き入っていた。村上博由会長は「講演会・音楽会に、たくさんの方の皆さんに喜んでいただくことができて、とてもよかった。新しい10年は中央大学相模原白門会として、地域貢献を進めていきたい」と話した。